

議会だより

HAKUBA



144号

3月定例会号

令和5年4月30日発行



表紙の写真

入学おめでとう!南小学校の入学式

■令和5年度・新村長の初予算を審議！

予算委員会	2～5
総務社会委員会	6
産業経済委員会	7

■本会議場での質疑・討論

■議決結果一覧

■トピックス

おとなと子ども2つの福祉施設を誘致！

■夢・私たちに。「わたしのひとこと」

■村政を問う 一般質問

・65歳以上5人に1人が認知症。対策は？	11
・防災士を育成する考えは	12
・インバウンドによる迷惑行為の増加対策は	13
・村民生活の充実こそ観光地の魅力化では	14

は60億円超え

令和5年度予算

一般会計 **60億5,600万円**
(前年比 +3.00%)

特別会計 **11億4,699万円**
(前年比 +1.80%)



ざっくりさん



予算委員長報告

予算特別委員会に付託された案件は6件で、5日間にわたり審議されました。特にお知らせしたい目玉事業を掲載いたします。その他の審議内容は、**予算委員会委員長報告**としてHPにて公開していますので、是非ご覧ください。

また行政側が作成した分かりやすい予算の概要「**ざっくりわかる白馬村の予算**」も合わせて読めば、より理解が深まります。



村長重点施策1 子育て支援事業

はくばっ子応援交付金事業	205万円
子ども第3の居場所事業	6,093万円
施設型・地域型保育給付費	7,975万円
保育所等整備補助金	6,543万円

【概要】

安心して子育てできるために、未満児待機児童ゼロを目指した施設整備と、祝い金(小学校入学、小中学校卒業)の創設など。

【主な審査内容】

- Q 保育士不足の解消策としての待遇改善はあるか。また、小規模保育施設が開設すると待遇で比較されるが、連携が重要では。
- A 待遇面だけでは解決しない現状がある。働き方改革で、夕方の延長保育は資格の無い職員にも入ってもらい負担を減らす体制をとっている。人材の取り合いにならないように事業者と話している。
- Q 子育て全般で予算の1割になる。保護者ニーズの把握はされているか。
- A 白馬村は働き方が特殊。核家族化と、自営業が多く、外国人も多い。労働力不足から共働きが多く、出産してもすぐに働かなければならない。3歳未満は希望が多い。入園希望の際に保護者面談は実施している。



令和5年度予算を審議しました。 丸山新村長の初予算

村長重点施策2 デジタルトランスフォーメーション※

DXコンサルティング業務委託料 800万円

【概要】

デジタル分野における専門的知見を有する人材を設置し、DXの推進を図る。

【主な審査内容】

- Q コンサルティング人材は確保されているのか。
- A システムエンジニアではなく、ITのデザイナー的な要員を希望し、国の地方創生人材支援制度に手を上げ、1社と合意した。庁内の状況を把握し、業務改革を進める。期間は2年間。

村長重点施策3 ゼロカーボンビジョン推進

公共施設EV急速充電設備更新事業 1,001万円
エコカー購入補助金 150万円
ゼロエネ住宅普及 150万円

【概要】

村長重点の施策の一つ。カーボンニュートラルの実現に向け庁内横断的な取り組みを推進。

【主な審査内容】

- Q 時代の流れもあり予測は難しいが、各家庭への電気削減啓発と、自家発電に対する補助を手厚くすることで、EVの普及にも繋がるのでは。
- A ガソリンから電気への転換、家屋の断熱改修、家庭用太陽光パネル普及による自給率の向上、それらを念頭に組立てた。個々への啓発についてはシンポジウム開催を計画している。
- Q 白馬村ゼロエネ住宅普及支援事業の補助金は5軒分の計上だが、国・県事業との一体実施は出来ないのか。
- A 国・県の補助基準に合致したものに上乗せ補助する。



※デジタルトランスフォーメーション…Digital Transformationの略語。Transformationは「変容」という意味なので、DXを直訳すると「デジタルによる変容」となる。役場の業務の効率化や合理化を図り、村民への利便性も向上すると考えられている。

本当に役立つ村民の足は実現するか

新たな公共交通推進事業

地域交通検討業務委託(総務課)	220万円
乗合タクシー運行事業(健康福祉課)	1,377万円
海外観光客受皿整備事業(観光課)	1,161万円
スクールバス運行事業(教育課)	2,207万円

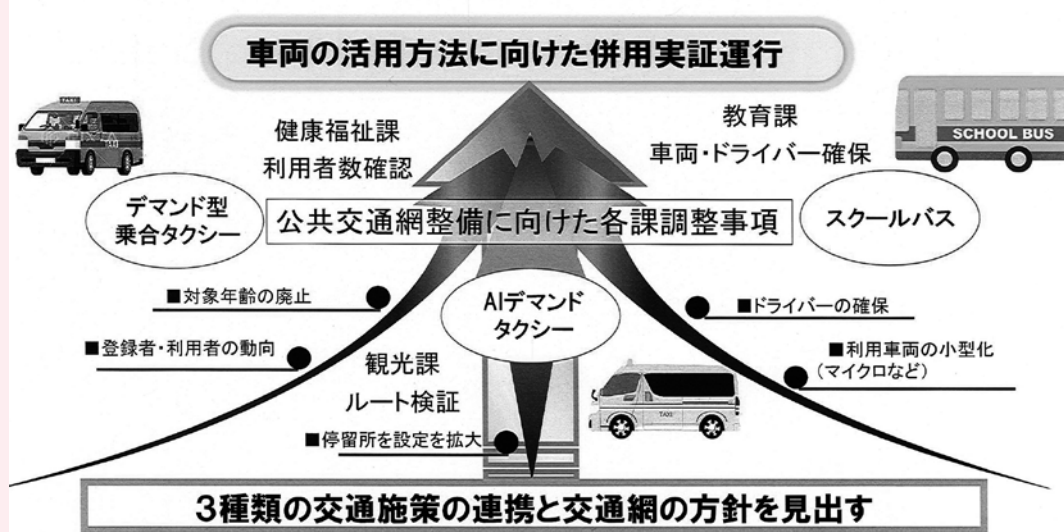
【概要】

公共交通整備に向けた、各課事業の車両の活用方法を連携させる併用・実証運行

【主な審査内容】

- Q 乗合タクシー運行事業の年齢制限は、撤廃なのか。
- A 撤廃の方向で、6月頃からの運行を目途に、動向を見ながら台数等の検討をしていきたい。
- Q AIデマンドタクシーのバス停増設の考えは。また、グリーン期に運行する考えは。
- A バス停は増設を提案する。村は通年型観光地を目指しているので、展望としてグリーン期も含め通年運行したい。
- Q スクールバスの中学生乗車と、運行は試験運行か、本運行とするのか。
- A 列車の無い時間帯で部活が終了した中学生を乗せる考え。今年度は実証運行として、運行台数・運転手の転用を検証する。

令和5年度における公共交通網整備に向けた実施方針



先々どうする、オリンピックレガシー

スノーハープのり面改修事業 6,578万円

【主な審査内容】

【概要】

デジタルボード下ののり面の改修工事。

- Q 工事内容は。
- A 改修は3段を2段にして平らな部分を広くし、乗用草刈機が入れるようにする。法面はフトン簾にして、落下防止として手すりを施工する。

事業費高騰でも電動ゲートは実施

犬川用水電力ゲート設置・小水力発電事業 3,000万円

【概要】

スマート農業導入のモデルケースとして、地元要望の強い取入口ゲートの電動化と、併せて小水力発電施設の建設。

【主な審査内容】

- Q 電動ゲート費用が3千万円となると、小水力発電には1億円となるが、小水力は事業費が今後さらに高騰しても実施するのか。売電収入の年額見込みは。元を取るのに22～23年かかるのが限度では。
- A 売電収入見込みは、年間約480万円。現状事業費1億3700万円から3割を超えた場合は、国県への重要変更認可が必要。その辺りで元を取れるかを含め、見直すかは内容を精査して判断する。ゲートの電動化は必ず実施する。

新たな観光財源、具体化スタート

観光地経営会議運営支援委託料 296万円

【概要】

観光地経営計画推進体制の再構築と、新規財源確保に向けた使途決定組織の編成。

【主な審査内容】

- Q その組織の役割とスケジュールは。
- A メンバーを再度洗い出し、しっかりした計画推進体制の構築。観光財源に関することは、使途決定組織の構築と総務省協議・条例制定等は5年度中に固めたい。6年度で住民説明会や周知。7年度から課税を開始していきたい。
- Q 新たな観光財源の名称は。宿泊施設が特別徴収義務者になってもらうことは変えないのか。
- A 報告書には、宿泊を対象とする「白馬のみらい観光税」という名称が記載された。そこに戻することは考えていないので、この名称で動かすための諸々の準備を進めていきたい。

通年型リゾートの構築に期待高まる

八方池山荘建替計画官民連携調査事業 1,640万円

【概要】

民間資金活用による八方池山荘の建替えの実現性を探る事業。

【主な審査内容】

- Q 調査の結果がどうなっても行うのか？
- A 規模を縮小しても行いたい。



八方池山荘のイメージ図

療育センター建設に 村有地無償貸与

B&G財団の「子ども第3の居場所事業」の補助を受けて開設

主な議案の審査内容を掲載します。

詳細はHPに掲載の各委員長報告をお読み下さい。

※各委員長報告は、正式に公開される「会議録」と違い、審議内容(発言)を要約し纏めて本会議場で発表する原稿として編集されたものです。

議案第5号

財産の 無償貸し付けについて

議案の概要

民間事業者実施主体による、「子ども第3の居場所事業」を実施するため、その用地として、中学校西側の村有地を無償で約10年間貸し付けるもの。

Q 建設位置について複数案の検討は。

残る広い土地の利用価値がなくなる。安易に考えていないか。最終的にここしかないという結論で良いか。

A 絞り込みをして提示した場所となった。

教育委員会でも協議し、理事者も交えこの場所とした。

Q トレーラーハウスと聞いたが、移動はあるのか。建設用地に必要な

あった場合移動が可能となるのか。移動はしないのが基本。基礎を打設する。公共事業で必要がある場合は対応する考え。今のところその様な予定は無い。



B&G財団ホームページより

議案の概要

上位法の改正により、出産育児一時金を40万8千円から48万8千円に引上げ。令和5年4月1日施行。白馬村健康保険条例施行規則分1万2千円を上乗せ支給する。これにより、改正後は計50万円の出産育児一時金支給となる。

議案第13号

白馬村国民健康保険条例 の一部を改正する条例

議案第14号

令和4年度白馬村一般会 計補正予算(第8号)

議案の概要

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ7805万7千円を減額し、歳入歳出予算の総額を68億847万5千円とするもの。

【生涯学習スポーツ課関係】

ウイング21のトイレ修繕費195万6千円の工事内容は、和式から洋式トイレ、ウォシュレットと暖房便座に改修。

A Q トイレは何基施工か。
2階も含めて21基。



「庄屋丸八」を 普通財産化し売却する方針へ

議案第10号

**白馬村歴史的古民家設置
条例を廃止する条例につ
いて**

議案の概要

白馬村歴史的古民家「庄屋丸八」は本条例の施行(平成20年1月1日)をもって公の施設として供用開始となり、指定管理者に施設の管理を行わせてきた。供用開始から15年が経過し、公の施設としての役割が終えたことから、本条例の廃止により公の施設としての供用を廃止するもの。

Q 公の施設を廃止した後の建物はど
うなるのか。

A 普通財産とし、貸し出していくこ
とになる。土地所有者との間で売
却についての交渉したが、相手
方側からは不要との回答があり、
現在使用している運営会社へ当面
の間、賃貸を継続する。

Q 建物と土地が同一所有者で無いこ
とが以前より問題。土地を村が取
得し、建物と一体として売却ある
いは貸し出すべきではないか。

A 土地所有者からは、数年後に土地
を売却していく意思を確認してい
る。また、建物についても運営会
社は購入しても良いと聞いている
が、いずれも時期については未定。

意見

今のところ土地は現状のまま建物
のみを賃貸する。建物は今後売却
して行く予定だが、土地購入につ
いても検討していく。
今後、建物の売却について村民益
と成るよう交渉については十分留
意することを望む。



議案第14号

**令和4年度白馬村一般会
計補正予算(第8号)**

【農政課関係】

Q 経営所得安定対策等推進事業補助
金の1331万4千円の増額の内容
は。

A 農水省で行っている電子申請のe
MAFF※を全額、国の交付金を
使い整備するもの。今後、村の保
有する農業情報を電子データとし
て共有化していく。

【上下水道課関係】

公営企業電力価格高騰対策支援金
241万円は水道事業へ、125万円
は下水道事業へ、国の新型コロナウイルス
感染症対策対応地方創生臨時交付
金を活用し、一般会計から補助。



← 審査結果の一覧は、9ページをご覧ください。

本会議場での質疑・討論

議案第5号

財産の無償貸付について

【概要】

白馬中学西側の村有地に、「第三の居場所」をNPO法人に10年間無償提供するもの。

上程質疑

津滝 俊幸

- Q 無償貸付の土地の選定と無償とした理由は。
- A 公共性が高い割に収益性が低く、協議の結果、村有地を無償貸付けにした。造成費がかからず学校から近い場所で、インフラが整っていることを考慮した結果。
- Q 建設に関わる財源とトレーラーハウスとした理由は。残地の利用方法は。
- A B&G財団の「子ども第3の居場所事業」の助成金を活用する。建築費と3年間に限る運営費が助成される。早く建設し事業を始めたいこと、別の土地利用が出た場合、移動できるトレーラーハウスとした。残地は道路の雪入れなどに利用。

丸山 勇太郎

- Q この土地は普通財産にしたのか。
- A 令和5年2月22日付で行政財産用途廃止の協議がなされ、同日に普通財産に変更した。
- Q この土地の立地適正化計画上での位置づけと、また都市機能誘導区域内での村有地利用を決める庁内手続きはあったのか。
- A 確かに都市機能誘導区域内に入っている。庁内での横断的な手続きというものは正直なかった。ただし、計画の趣旨から外れるものではない。
- Q この土地は、将来学校用地にはならないか。
- A [教育長] 将来学校用地になる可能性もある。ゆえにトレーラーハウスによる10年間の使用貸借と聞いている。ただし個人的見解では、ここでの校舍建設は難しい。

議案第4号

財産の無償貸付について

【概要】

名鉄地区東側のオリンピック道路沿いの村有地に、障がい者グループホーム建設のため事業者30年間無償提供するもの。

上程質疑

加藤 亮輔

- Q 初めての施設であり、利用希望者や村民へ広報等を使って周知すべきでは。
- A 今回募集、入居者の選定、広報等については事業者側の責任において実施するものと考えている。村として意見要望は随時伝えていきたい。
- Q 施設は、白馬・小谷地域が優先利用できるのか。また今後、就労の場を作るのか。
- A 要望は当然するが、基本的には事業者が決める事。就労施設計画については、考えていきたいと聞いている。

津滝 俊幸

- Q 障がい者グループホームとはどのような施設か。無償貸付の土地の選定と無償とした理由は。
- A 障がいのある方が、世話人などから生活面や健康管理を受けて、共同で生活する住宅。大北北部地区では同施設が無いため、持続可能な福祉サービス確保の観点と官民連携の推進として無償とした。
- Q 貸付先の事業者の行っている事業は。また、貸付期間30年とした理由は。
- A 障がい者グループホームを8カ所、介護保険施設のデイサービスの運営を行っている。長期計画に基づく運営が必要不可欠で、村財務規則に定めた上限30年とした。
- Q 残地の活用と小谷村からの資金提供は。
- A 活用については未定。小谷村からは土地評価額等を参考に算出すると聞いている。

議案20号

「令和5年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計」について反対討論

国保保険料の統一化を県から要請され、加入者1人平均1,400円(総額236万円)引き上げ予算を上程。しかし、村の国保会計は黒字で、財政調整基金(貯金)が、1億8,249万円ある。そこから236万円取り崩せば済む。

3月定例会 議決結果

○…可決 ×…否決

番号	件 名	予算委員会	総務社会 委員会審議	経済産業 委員会審議	本会議 議決結果
発議第 1 号	白馬村議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	--	--	--	初日可決
議案第 4 号	財産の無償貸付について	--	--	--	初日可決
議案第 5 号	財産の無償貸付について	--	○	--	可決
議案第 6 号	長野県町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について	--	○	--	可決
議案第 7 号	大町市及び白馬村における北アルプス連携自立圏形成に係る連携協約の一部を変更する協約の締結の協議について	--	○	--	可決
議案第 8 号	白馬村個人情報保護法施行条例の制定について	--	○	--	可決
議案第 9 号	デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	--	○	--	可決
議案第 10 号	白馬村歴史的古民家設置条例を廃止する条例について	--	--	○	可決
議案第 11 号	白馬村執行機関の附属機関の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	--	○	--	可決
議案第 12 号	白馬村手数料条例の一部を改正する条例について	--	○	--	可決
議案第 13 号	白馬村国民健康保険条例の一部を改正する条例について	--	○	--	可決
議案第 14 号	令和 4 年度白馬村一般会計補正予算（第 8 号）	--	○	○	可決
議案第 15 号	令和 4 年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第 3 号）	--	○	--	可決
議案第 16 号	令和 4 年度白馬村後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）	--	○	--	可決
議案第 17 号	令和 4 年度白馬村水道事業会計補正予算（第 3 号）	--	--	○	可決
議案第 18 号	令和 4 年度白馬村下水道事業会計補正予算（第 3 号）	--	--	○	可決
議案第 19 号	令和 5 年度白馬村一般会計予算	○	--	--	可決
議案第 20 号	令和 5 年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計予算	○ 反対： 加藤（亮）	--	--	可決 反対： 加藤（亮）、 尾川
議案第 21 号	令和 5 年度白馬村後期高齢者医療特別会計予算	○	--	--	可決
議案第 22 号	令和 5 年度白馬村農業集落排水事業特別会計予算	○	--	--	
議案第 23 号	令和 5 年度白馬村水道事業会計予算	○	--	--	
議案第 24 号	令和 5 年度白馬村下水道事業会計予算	○	--	--	

追加議案

番号	件 名	議決結果
同意第 1 号	白馬村教育委員会教育長の任命について	○
同意第 2 号	白馬村固定資産評価審査委員会委員の選任について	○

陳情・請願

提出者	住所	要旨	審議結果
一般社団法人 長野県建築士事務所協会	長野市	最低制限価格の設定に関する陳情	採択（反対：尾川）
	長野市	耐震診断・耐震改修に関する陳情	採択（反対：尾川）
	長野市	国土交通省告示第 9 8 号の履行に関する陳情	採択（反対：尾川）
白馬村の学校給食を考える会	白馬村	白馬村小中学校給食費の無料化を求める陳情	不採択（賛成：加藤（亮）、加藤（ソ）、尾川）

令和 5 年第 1 回臨時会 議決結果（1月20日）

番号	件 名	議決結果
報告第 1 号	損害賠償事件に係る損害賠償額の専決処分報告について	報告事項
議案第 1 号	物品の取得について	○
議案第 2 号	令和 4 年度白馬村上下水道事業会計建設改良積立金の目的外使用について	○
議案第 3 号	令和 4 年度白馬村一般会計補正予算（第 7 号）	○

議案審査と採決の流れ ①本会議で議案の提案 → ②各常任委員会に付託（審査を任せる） → ③委員会審査 → ④本会議で審査内容報告 → ⑤採決（採決前に、議案に対する賛否について討論で意見を述べるができる）

一般質問

村政を問う

安全で活力ある
村づくりをめざして

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、村長や教育長などの方針を問うものです。

白馬村は1問1答方式で、1人60分の制限時間内であれば、質問回数に制限はありません。

議会だよりでは、紙面の都合上、質問者が要約して掲載しています。

本会議はユーテレ白馬でご覧いただけます。

質問者一覧

- ・加藤 亮輔…………… 11p
- ・増井 春美…………… 12p
- ・太谷 修助…………… 13p
- ・丸山 和之…………… 14p

フォトニュース



3月27日、長野市と松本市と、インバウンドを柱とする長期滞在型観光振興に係る連携協定を締結しました。



4月3日、Snow Peak LAND STATION HAKUBA で、白馬村観光大使第1号として国本梨紗さんの就任式を行いました。



加藤 亮輔

問 65歳以上5人に1人が認知症。対策は？

答 世代間交流を庁内で検討したい

【高齢者が安心して暮らせる社会保障制度】

問 高齢者福祉計画支援事業の案内冊子の配布を21年6月議会で、要請したが、行われていない。

答 当時はサービス対象となる方が限定しているため見送った。現在は3人に1人が65歳以上の高齢者。また、来年度が次期高齢者福祉計画の策定年度。それに合わせて高齢者福祉サービスガイドの作成を検討したい。

問 温泉施設利用高齢者等助成事業の利用券の配布を増やせないか。また、おむつ用品等購入助成事業を拡大できないか。

答 温泉券については、月1枚の助成券を12枚交付。お話を聞きしながら拡充について検討したい。家族介護用品の補助対象の拡大は、費用負担等を試算検討したい。

問 認知症初期集中支援チームと、認知症地域支援推進員、及び認知症サポーターの関係と役割分担は。

答 支援チームは認知症専門医、看護師等の専門職で大町市に設置。地域支

援推進員は地域包括支援センターに1名配置。認知症の方にサービス提供と家族の相談業務。サポーターは今年度179人が講座を受講し、現在累計1300人いる。

問 2025年問題で後期高齢者が2200万人を超えるとされる。国民の3人に1人が65歳以上。5人に1人が後期高齢者。65歳以上5人に1人が認知症。高齢者問題と認知症について課題がある。社会参加できる状況づくり、同時に、他世代、異世代、特に若い人と話し、交流できる仕組みを作ることが村にとって大切。しっかりとやっている地域は認知症の発生も、介護にかかる人も少ない。村でも、高齢者の生きがいにつながる異世代交流組織作りの考えは。

答 世代間交流は、スポーツの関係では、生涯学習スポーツ課。子育て世代になれば、子育て支援課など庁内で連携しながら検討したい。

問 自治体の使命は福祉の増進。県及び他の自治体と共同して、国に社会保障費の増額を発信すべきと考えるが、村長の見解は。

答 社会保障制度は、国民の「安心」や生活の「安定を支えるセーフティネット」で、全ての人々の生活を生涯にわたって支えるもの。現在の日本は、異常な速度で少子高齢化、人口減少が進展。その観点から、国は、医療・介護制度の改革を進め、全ての国民が、それぞれの地域で、質の高い医療・介護サービスが必要に応じて受けることのできる体制の確保及び、介護人材の確保等に力を注ぐ等の基本方針を示した。また、昨年の11月に長野県町村会より国・県へ出した重点提案・要望書の中に、国民健康保険および介護保険に



北部地域(新田区)に小規模多機能介護施設「おらの家 あそなか」が開所

*小規模多機能介護施設とは、介護保険制度で創設された地域密着型サービスです。同一の介護事業者が「通所(デイサービス)」を中心に、「訪問(ホームヘルプ)」や「泊まり(ショートステイ)」を一体的に提供する施設。

ついて、必要な財政措置や財政基盤強化を要望している。

問 防災士を育成する考 えは

答 村の防災対策の推進方針と合 致する



増井 春美

【白馬村国土強靱化地域 計画】

問 昭和56年5月以前の旧耐震基準で建築された住宅について、耐震診断・耐震改修を促進するため、その必要性に応じて普及活動を行うとともに、助成事業の実施に努めるとあるが、実施状況は。

答 平成30年度から令和4年度の5年間で耐震診断が2件、耐震改修は無い。耐震改修事業の最後は、平成28年度に1件。

問 防災お出かけ講座や防災マップの作成により、日頃から危険箇所や避難場所等の周知を図るとあるが、周知方法は。

答 出前講座は、今年度は実施要望は無い。来年度以降も引き続き働きかけていく。防災マップは、避難情報や想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域等が変更されたことから更新しており、行政ホームページや防災アプリ内で公開中。また、区長会議で、区民への周知と各家庭の避難行動等の確認に活用をお願いしている。

問 避難行動要支援者の避難支援を具体化する方法として、災害時住民支援合いマップを作成するとなっているが、各行政区の更
新状況の把握は。

答 昨年度末現在、作成していない地区は、行政区30地区のうち4地区。その後、3地区で作成し、残り1地区も作成を検討中。また、マップの更新は、新型コロナウイルス感染症の影響で、研修会が開催できず把握できていない。

問 避難所運営マニュアルの有効活用は。

答 令和元年度に区長を対象に避難所の設営訓練を実施。新型コロナウイルスにより訓練実施ができな
ない状況。また、浸水想定区域の広がりや感染症対策に関する考え方の変化により、新たな考え方が示され、マニュアルの更新も必要になっている。

問 地区の防災力向上のため、防災士（ボランティア）を育成する考えは。

答 防災士会の活動理念に、地区の防災力の向上に努め、防災協働社会の実現に寄与する、災害の事前対策、応急対策、地区防災計画の策定等実施に指導的役割

を果たすとあり、村の防災対策の推進方針と合致する。村としては助成支給する予定はないが、防災士の認証が増えることは、地域防災の底上げにもつながるので、周知は実施していく考え。

本村の防災・減災力の向上を図るべく、防災担当のみならず、全庁体制で防災・減災意識を持った行政運営を行うことが重要である。その上に、防災知識を持った防災士や自主防災組織を中心とした共助が加わることで、本村の防災力もさらに向上するものと考えている。



会場（松本大学）令和5年3月18・19日



「防災士養成研修講座・検定試験」若い方の感心の高まりを感じます。



太谷 修助

問 インバウンドによる迷惑行為の増加対策は

答 マナー条例を再認識し、必要施策を展開する

【インバウンド事業復活と今後の課題】
バックカントリー等の山岳事故が多発している。二重遭難にならず救助する対策は。

答 大町警察署管内の指揮権により、救助活動に必要な情報を入手し、捜索方針を決定。天候と現場の状況や招集可能な救助隊員の人数によっては、遭対協を招集し捜索活動を行う。救出後は常備消防が引き継ぎ、医療機関へ搬送する。

問 インバウンドの復活に伴い、外国人観光客の迷惑事案が発生している。特に騒音被害については各地区での被害が報告されているが対策は。

答 担当課は見回りと注意喚起。施設オーナー等にも改善を要請。警察署とも連携し、営業施設の見回り、マナー条例の周知と注意喚起を。マナー条例の英訳版ムービーを長野白馬線のバスやYouTube、ユーテシでも行った。

路上スキーや運転トラブルには英語での注意喚起案内を作り、住民課では転入者への配布物に加えている。事前予防に努め、事象が発生した場合はすぐに対処するよう取り組む。

問 マナー違反の振舞いは、平穏な村民生活が乱されると、不快感を示す方たちが少なからずいる。こうした村民への配慮は。

答 令和2年に「白馬村多文化共生社会の推進に関する条例」を制定し、日本の文化や習慣等にも理解を求めるなど、総合理解を深めることが必要であると認識している。

問 急速な円安やインバウンド事業の復活で、人手不足が深刻化している。今後の対策は。

答 1、多文化共生 2、地域連携 3、デジタル化 4、移住定住の促進を考えている。外国人が住みやすく働きやすい環境作りが大切。地域の活力向上に向けていきたい。季節的特性の異なる国内リゾート地域との連携、デジタル技術によるスマート化、省力化、高付加価値化を進めることで労働生産性を高める。移住定住の促進には、居住の解決

や子育て支援に引き続き取り組む。

問 観光の本質はおもてなしの心を持ち続けること。「民宿発祥の地白馬」こそ、国内観光客をもっと増やすべきでは。

答 令和元年の観光統計では、年間240万人の観光客のうち、外国人は28万人、残りの約9割は国内観光客。国内スキー、スノーボード人口はピーク時の4分の1まで減少。国内はもち

ろん、外国人観光客も引き続き集客しなければならぬ。おもてなしを第一に、八方池山荘の建て替え等の観光地として、陳腐化しないための新たな設備投資も、国内向け、海外向けのプロモーションの強化にも取り組んでいきたい。



急激な雪解けで、ゲレンデ下部には雪がないのに、まだ多くの外国籍のスキーヤーが訪れている
白馬八方尾根スキー場の Gondola 乗り場付近 (3月28日撮影)

問 村民生活の充実こそ 観光地の魅力化では

答 今後も引き続き魅力化に取り
組んでいく



丸山 和之

【白馬村の観光】

問 新たな八方池山荘に
はどのようなイメー
ジを持っているか。

答 白馬で唯一の眺望ス
ポットになり得ると
感じている。世界水準のマ
ウンテンリゾートにふさわ
しい施設をイメージしてい
る。

問 観光地としての危機
管理についてはどの
ように考えているか。

答 白馬村観光防災マニ
ュアルを作成し、有事の
際の対応を定めた。観光庁

の外国人向けの災害アプリ
に加えて村の防災アプリと
併せて活用するように案内
している。

問 通年観光については
どのように考えてい
るか。

答 官民間問わず精力的に
活動を続けており、結
果にも結びついている。また、
働き方の変化や環境整備に
伴い、テレワークなどの受け
入れも貢献するものと考え
る。

問 観光地と文化芸術の
組み合わせは必然と
考えるか。

答 文化芸術にも触れら
れる観光地であるこ
とを様々な場面で打ち出し、
豊かで美しい環境を満喫で
きるイメージをつくり持続
性のある観光地を目指す。

問 白馬村は観光地とし
ての環境が全て整っ
ているといえる。景色につ
いては観光地としては恵ま
れているので、景色はウリに
するべきでは。

答 既にコンテンツとし
ては恵まれているの
で、何をするかを念頭に考え
ていく。

問 史跡などを村の中を
歩いて視察できるこ
とは重要であると考えるが。

答 もともとあるものを、
きちんと見える形に
整理していくことは重要で
あると考える。

問 風物は地域の生活の
中から生まれる文化
であるのでしっかりと伝承
していく必要があるのでは。

答 長い歴史の中で築か
れたものとして白馬
の魅力になっているので、持
続性あるものとして研究し
ていく。

問 観光地として恵まれ
た環境があるので、広
域で人が歩いてまわれるよ

うな通年観光の素材となる
ものが必要では。

答 より多くの方々にも
楽しんでいただきた
めにも、広く連携を取りなが
ら検討していき、観光資源を
生かすという意味でも重要
であると考えるので何かし
らのアクションをしていき
たい。

問 白馬独自の部分をしっ
かりと研ぐことによ
りそこに意識が生まれ、充実
した生活をつくり、それが質
の高い観光につながってい
くと考えるか。

答 白馬が多くの方から
愛され、住んでいる人
たちも愛し続けていける村
になるようにこれからも取
り組んでいく。



観光客で賑わう白馬駅前。
これからの観光地白馬村に期待したい。

特別
解説

おとなと子ども2つの福祉施設を誘致

財産無償貸付2議案は、慎重審議の結果 可決

白馬村は障がい者福祉に資する二つの施設を誘致し、5年度中に建設されます。施設の概要と関係議案の審議について解説します。

①障がい者グループホーム

障害を持った人たちが親元を離れて安心して暮らせる施設として、民間事業者が建設します。施設を切望する親の会からは10年来要望が両村に寄せられ、昨年9月議会では、白馬・小谷両村議会への陳情書を採択した経過のある同施設は、県下で数少ない当該施設がない空白地帯となっていた白馬・小谷地域では初の施設となります。

建設される場所は、通称オリンピック道路沿い飯森地籍にある村有の雑木林で、881.82㎡を利用し、有限会社とざわ(松川村)によって建設され運営されます。白馬村は土地を提供し、小谷村は資金を提供します。

議会では、担当課を呼んでの事前勉強会を複数回行い、村有財産貸付の議案第4号は、施設の早期完成を期すため議会初日の採決で可決しました。

②子ども第3の居場所事業「療育センターそらいろ」

発達に障害があったり、放課後等デイサービスを利用する児童、また様々な理由で学校や家庭での生活に支障がある高校生以下の児童・生徒が集う施設として建設されるもので、事業者は特定非営利活動法人KUMOI(安曇野市)。既に小谷村で「そらいろ」との施設名で事業を行っていて、本村からの利用者も多く、これが白馬村にも建設されることとなったものです。

場所は、中学校北側の給食センター残地を利用。トレーラーハウス3棟で建設されます。事業費は、B&G財団が建設費補助と3年目までの運営費助成を行う「子ども第3の居場所事業」によって賄われ、村を経由するものの村費の負担はありません。

しかし、この事業における行政の建設場所決定プロセスには、大いに問題があったと議会は考えており、事前の勉強会、議案上程時や付託された委員会では、様々な質疑・意見が出されました。しかし、慎重審議した結果、議案第5号は最終日に可決しました。

陳情第4号

「給食費の無料化を求める陳情書」に対する討論

「白馬村の学校給食を考える会」が村立小中学校の給食費を「食育」の観点からも学校給食を無料にしてほしいとの陳情。926筆の署名とともに提出されましたが、賛成少数で不採択となりました。

<賛成討論>

法律では食育の推進が明確に位置付けられ、給食は授業の一環。憲法の本質に立てば、無料とするのが本来。物価高騰は家計への影響も大きく、村長に提出された署名を無視することはできない。無料化を進めていかなければならない時期。

<反対討論>

現在の白馬村の財政状況は厳しい。まずは補助増額や第2子からの無料化など段階的に考えていくべき。質を落とさない事やアレルギー対応をしっかりと行い、子どもたちが健康で育つための給食を提供していくべき。

スマホアプリで白馬議会だより配信中！



マチイロ

マチを好きになるアプリ



お気軽に！ご意見をお寄せください！▶ gikai@vill.hakuba.lg.jp

85-0725(直通) 72-7001(ファックス)

R4年度議長交際費
HPに掲載しています



わたしのひとこと



あれから7年

八方口 檣橋 和希

熊本の友人たちは、寒がりな私が白馬村で冬を迎える度心配してくれる。熊本では、主人と2人でイタリア料理店を営んでいた。顔の見える生産者から、野菜や肉を仕入れ有り難く命をいただく。営業をしていく中で「子ども食堂」をしよう、と言う思いになった。良き協力者との出会いのお陰である。この考えに農家の皆は直ぐに反応してくれた。米や野菜、卵とそれぞれの生産物を喜んで提供したいと申し出てくれたのだ。子供たちにはお腹いっぱいになって欲しい。だだ、それだけ。

しかし、残念ながら計画で終わった。熊本地震で、私たちの店が無くなったからだ。

あれから7年が経ち、白馬村でドーナツ店を開いているなんて夢にも思っていなかった。人生は何が起こるか分からない。

今度こそ、子ども食堂…夫婦二人で思い。今日も店を開ける。



インバウンド最前線では

山麓 松田 浩貴

コロナ禍が落ち着いてインバウンドが再開され、我が宿でもまた英語が飛び交いはじめました。40年程前に白馬中で初めて英語に触れ挨拶程度しかできない私にとって、毎日外国人とやりとりしなければならないストレスは切実です。今、目の前では外国人のお客様とフロントスタッフの彼が談笑しています。彼は白馬出身で私と同年代。確か私以上に英語が苦手のはず。それがなぜ？

「英会話勉強したの？」

「いや。少し勉強してみたんですけどさっぱりでした。」

「でも今、英語で流暢にコミュニケーションしていたでしょう？」

「コツがあるんですよ。」

「コツって？」

「それはですね…」

「……」

「身ぶり、手ぶり、アプリ！」

「……」

最前線ではスマホを手にした彼らが奮闘しています。



ダンスのHAKUBA

飯森 中澤 小百合

白馬に移り住んで18年になります。当時運転免許も持っていなかった私に「子供にダンスを教えて欲しい」との依頼があり、3人の中学生の保護者さんに送迎をしていただきながらダンスを教え始めて18年。沢山の子どもたちに「愛情たっぷり」そして「愛ある厳しさ」をもって指導をさせていただいております。

多数のイベントやコンテストにも出場し、結果を出してくれる子供達と共に更に上を目指し日々精進しております。また現在はスクールだけではなく地元や近隣の小学校や中学校の体育ダンス指導、そして白馬高校のダンス部の外部講師としても、振付や指導にあたっております。

特に白馬高校ダンス部は大会に出場をし、少しずつ結果を出しております。そこには白馬高校を他地域の方にもっと知っていただきたい！更に魅力ある高校にしたい！ダンスイベントで益々白馬村を盛り上げたい！！との私の思いも強くあります！！「有言実行」がんばります！

あとがき

今号から少し紙面づくりが変ったことにお気づきでしょうか。まずは委員会報告から読みやすい形に改めました。行政の目玉事業、審議に時間を要した議案、それに対する質疑だけをピックアップすることにしました。ただし道半ばです。47歳丸山村長が昨年誕生し、行政には変化の兆しがあります。その歩みが早いか遅いかは分かりませんが、よりよい未来に向けて行政内部の変化に期待するとともに、我々も少しでも良い方向に変って行かなければなりません。

村長の進める村政、一般質問の中継や「議会だより」に関心を寄せて頂ければ幸いです。

(丸山勇太郎)

議会広報特別委員会

委員長 尾川 耕

副委員長 加藤ソフィー

委員 丸山 和之

委員 増井 春美

委員 横川 恒夫

委員 切久保達也

委員 丸山勇太郎

議長 太田 伸子